

赤城山

山行日：2020年10月31日（土）

参加者：松本、沢地、青柳、江原 N、宮田 R（記）

行程：あかぎ広場前 10:08 — 黒檜山登山口 10:26/10:34 — 黒檜山 12:00 — 展望地 12:05/12:40
 — 黒檜山 12:45 — 駒ヶ岳 13:30 — 籠山 14:20 — 鳥居峠駐車場 14:30 — 覚満淵散策 —
 赤城山ビジターセンター14:55

紅葉を期待しての赤城山ハイキング。今回は既に紅葉は終わり、前橋駅から駐車場までのバス車中から標高1000m辺りの紅葉を楽しむにとどまりました。とは言え雲一つ無い快晴☀️最高のコンディションです！

バス停から登山口まで大沼の対岸の赤城神社を眺めながら20分程で登山口到着。既に大勢の登山客が集まり登山道渋滞の予感。各自準備整い次第スタートです。登山口の一步目から既に岩。暫く岩。ずっと岩。まさかずっとこの調子？・・・でした。登山口標高が1360m、山頂1827mの標高差460m余りを蛇行することなくほぼ直登の岩場。途中写真撮影を兼ねた休憩を2、3回入れて山頂に到着。



予想通りの混雑でさらに数分先の展望地に移動。木々の葉も落ちて明るく開けた展望地からはグルリと遮るものがない眺望が得られ雪を冠った谷川岳や遠く富士山まで見えます。これまで赤城山に4、5回登頂しているMリーダーもこれ程の眺望は初めてとの事。ゆっくりお昼休憩を取り再びの山頂経由で駒ヶ岳に向かいます。



黒檜山山頂からは木製の階段で標高差 200m ほどを延々と下り視界の開けた大ダルミから駒ヶ岳には予定の 1 時間前に到着。時間の余裕と体力の余裕（自分以外です）と非の打ち所がない晴天を確認し此処からは鳥居峠ルートに変更。マイナールートながらうっすら途中まで踏み跡もあり此方のルート選択に満足していたのも束の間。籠山の手前からは殆ど道らしい道もなく適当に岩を登り、適当にピンクテープを目印に下る羽目に。このピンクテープが曲者で全く頼りにならない！と、思いながらも無事に駐車場に到達。寛満淵の水面に映るメンバーの影に歓声をあげつつバス停にやはり 1 時間前に到着。一本早いバスに乗車でき前橋駅に向かいました。

そして帰路は恒例の車内打ち上げ。思い思いの飲み物で乾杯。ところが思いがけない電車の揺れで窓辺に置いていたビールがひっくり返り座席シートを濡らしてしまうというアクシデント発生。応急処置としてタオルを置いてその上にレジャーシートを広げたものの自分達が下車した後に座った乗客はお尻が濡れてしまう・・・どうする？と困っていたら何と S 地さんがピンクテープをザックから取り出し「これで判る様に印をすれば・・・」と言う事で座席にテープを貼り『座れません』と注意書きを。

山の中では殆ど頼りにならなかったピンクテープがこんな所で使えるなんて。と、下車しても尚大盛り上がるの楽しい一日でした。何故、S 地さんがピンクテープをもっていたのか？是非本人に聞いてみて下さい。

